

労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2019年12月21日発行

No. 565号 (第51期 10号)

〒454-0055

名古屋市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

秋の各会合同清掃ハイク 無事に終了！



10月6日から始まり11月20日までの2月間にわたり、15山岳会・会員300名近くでの実施でした。各会よりは事故等の連絡はなく無事に終了できほっとしております。ゴミも、人間の生活圏に近い山域では可燃・不燃ゴミが多くめだちました。こらからも今以上に綺麗にして、会員各位の「ふるさとの山」になるよう頑張っ活動をしましょう。お疲れさまでした！

| | | |
|-------|---------------------------------------|----|
| 《目次》 | 秋の各会合同清掃ハイク 無事に終了！ | 1 |
| | 第18回東海ブロック雪崩講習会(机上)が11月13日(日)に行われました。 | 2 |
| | 犬山労山マップ 会創立35周年に寄せて | 2 |
| | ワンチームで挑んだ東三河山ぽ会35周年記念事業 | 3 |
| 組織部 | 第7回組織担当者会議 報告 / くらら山の会訪問報告 | 4 |
| 教育部 | 11/14(木) 第8回教育担当者会議を開きました | 6 |
| 自然保護部 | 第7回自然保護部会開催 / 秋の合同清掃ハイク | 6 |
| 女性部 | 女性部だより | 8 |
| 遭対部 | 1/20 机上、1/26 実技、積雪期救助訓練に参加しましょう | 9 |
| お知らせ | 愛知県勤労者山岳連盟第52期登山学校、2020年3月29日から開講 | 9 |
| | 登山時報の紹介 | 11 |
| | カレンダー | 12 |

第18回東海ブロック雪崩講習会（机上）が11月13日（日） に行われました。



はじめに、東海ブロック長（竹本）より雪崩講習会の意義についての挨拶があり、その後、雪崩講習会の目的、雪とは？の基本学習に始まり、地形、気象からの行動判断、2017年那須岳での雪崩事象事例、コンパニオンレスキューの手順、雪崩ビーコンでの捜索方法などを学び、17時に終了しました。

参加山岳会 静岡：浜松勤労者山岳会4名、岐阜：中津川勤労者山岳会1名、愛知：あつた勤労者山岳会1名、東海ブロック会長竹本（阿部っ子山の会）講師

師：渡辺（中津川）、森（東三河）、ASC（水野）、伊左治（岐阜ケルン）事務局：佐藤（あつた）計12名

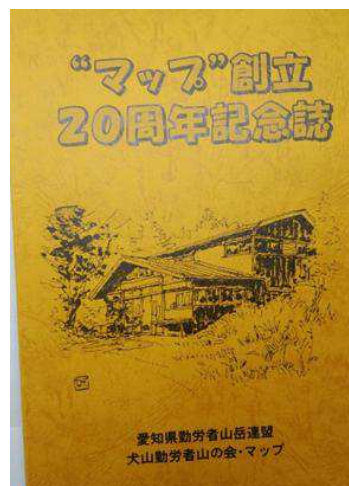
犬山労山マップ 会創立35周年に寄せて

運営委員長 岡 寛

犬山労山マップは1984年11月18日に10名で結成し、25日に結成記念山行・木曾駒ヶ岳に14名で登りました。以来、会員を増やしながら会活動をつづけ、10周年には156ページに及ぶ記念誌の発行とお祝いの会を開催しました。15周年は中央アルプス全山登山を実施し、記念誌（112ページ）発行。20周年は南アルプスほぼ全山登山と記念誌（137ページ）発行。25周年は後立山連峰（船窪岳から日本海）全山縦走と記念誌（65ページ）発行。30周年は白山山系（大日岳と石徹白大杉から笈ヶ岳）全山縦走と記念誌（130ページ）発行。

しかし、残念ながら35周年記念事業はこれまでの「〇周年事業」に比べ規模を縮小した取り組み（地域研究とその発表、全会員登山、祝う会、この小冊子の発行）になってしまいました。それは、2016年に「労山からの一部離脱問題」が発生し、その解決と新会員拡大に力を注ぎこみ、「周年事業」への取り組みは後回しにならざるを得なかったからです。結果として、一昨年度10名、昨年度11名、今年度10名（予定を含む）の会員を迎えることができ、会員増勢の中で35周年を迎えたこの到達点を喜び、確認し合いたいと思います。そして、40周年50周年を展望して、会の発展も会員一人ひとりの登山活動の発展も培っていきましょう。その際、次のことに留意していきましょう。

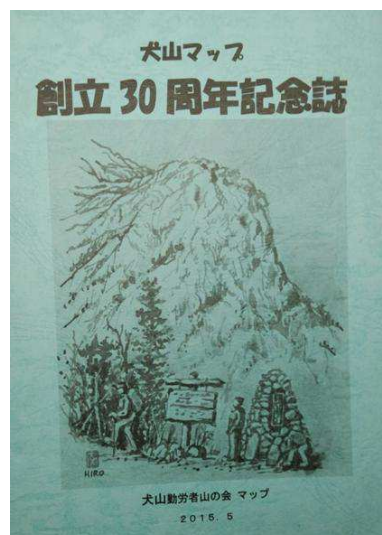
（1）会スタート時の「からだを心で鍛えよう！ 登山を多くの人々の喜びに！ 安く、楽しく、安全な登山を！」の合言葉を大切にしたいと思います。



(2) 新会員を迎える努力を惜しまないと共に、会員の登山知識・技術・体力・気力の向上に資する会活動に力を入れましょう。そして、全国の労山の仲間とともに「仲間づくり」でそれぞれの人生にプラスワンをもたらしましょう。

(3) 事故と向き合い、安全登山の追求の徹底をはかりましょう。私自身がリーダーを務めた山行で、メンバーの1997年の凍傷(男性)、2017年の駅ホーム転倒(女性)に続いて、今年のもので転倒2件(女性)の事故を起こして落ち込んでいましたが、教訓を明らかにし、みんなとも共有し合い、会として2度と事故を起こさない取り組みが重要だと覚りました。県連の事故事例集にも学びましょう。

こうして、山に行く喜び、行ける喜びが感じられる会活動を重ねていきましょう！



ワンチームで挑んだ東三河山ぽ会 35周年記念事業

東三河山ぽ会 松本佳宣



一年半前「5年刻みをやめて10年ごと、そう35周年じゃなくて40周年でいいじゃん」そんな話もつぶやきながらスタートを切った周年記念事業。先輩からは「5年ごとにやることに意義がある。10年も記念行事をやらないとやり方が伝承されない」と伊勢神宮の式年遷宮のような話をされました。

山ぽ会では記念誌発行、記念山行、記念レセプションの三本の柱を中心に事業を計画し実

施しています。今回は記念誌発行を編集部・自然保護部・安全対策部が、記念山行は山行企画部・平日山行部、じゃんだらりん部が、記念レセプションは組織部・岳習部がそれぞれ担当する事となりました。

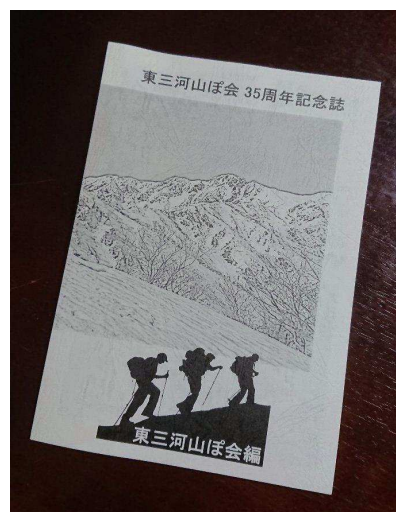
今年4月21日(日)に本宮山記念月例と題して9コースに分かれ92名の会員が山頂広場に集合しました。天気にも恵まれ「おもてなし隊」の作ってくれた豚汁・焼きそば・お汁粉は最高の思い出となりました。「おもてなし隊」とは会員の中で、最近足の具合や仕事の都合でなかなか山行に参加できない方たちが「山に行けなくても会員として協力する方法はある」として記念山行のために結成した調理部隊です。92名参加もさることながら会員のすそ野の広さや多様性に驚きと感謝を感じた企画でした。この他にも記念山行として北アルプスリレー登山や海外登山も企画実施されました。

始めは消極的だった記念誌発行も84ページにわたる立派な冊子を作ることができました。編集に携わった会員から「会の活動記録を残す事は今後の山ぽ会の進むべき道になる」との感想も聞くことができました。また発行には会報で培われた電子化のノウハウが生かされ、過去には大変な労力と時間を伴った印刷作業をデータとして業者に送り製本に至る効率化ができた事も会の活動レベルアップがあったからだと思います。

11月10日(日)に行われた35周年記念事業のフィナーレといえるレセプションも盛況に開催することができました。1年前から会場探しをはじめお試しの小宴会も行う力の入れ様。中でも記

念講演の講師選びは大成功でした。会の裏キャッチコピー「裏山からヒマラヤまで」を地で行く日本人女性としては数少ないエベレスト、K2を制覇した稲吉佑紀さんの話は我々にチャレンジする事の大切さや勇気を与えてくれるものでした。

「10年ごとの40周年でいいじゃん」で始まった35周年記念事業。最初は担当者それぞれの気持ちにバラツキがあったと思います。1年の準備期間を経て担当者だけでなく多くの会員を巻き込み山ぽ会がワンチームとなって記念事業を成し遂げることができたと思います。先輩の言う「5年ごとにやることに意義がある」とはその過程において会員同士の輪が次の5年10年に繋がる事を指しているのだと感じました。会員一人一人の力は僅かですが、それぞれの特技を生かし役割をこなす事で、これからも東三河山ぽ会が続いていくことを確信しています。



東三河山ぽ会 35周年記念祝賀会に参加して

11月10日（日）10時から60名ほどが参集して盛大に開かれました。県連からは5名が参加しました。まず、講演から始まりました。講師は、稲吉祐紀氏（豊橋山岳会）で妙齢な女性。「あることを機にソロで宇奈月～剣岳へ向かう。そこでの体験が次への糧となり――」やがてエヴェレスト、K2を登頂する。ちなみにK2登頂は、日本人女性で4番目（昨年全登研で講演された小松由佳さんが1番目でした）。彼女は（心配で）親に泣かれるのが一番つらいと淡々と語り、哲学まで言及しました。好感が持てました。「講師がとてもよかったです。こんな近くに素晴らしい方が居た事に驚きました」と会代表も語っていました。山ぽ会は団結力もあり和気藹々楽しい時間を過ごすことができました。県連からの参加者5名＝西尾（くらら）、廣田（同志会）、脇田（じねんじょ）、森本（半田F）、望月（ふわく）。（記：望月）

組織部 第7回組織担当者会議 報告 2019年11月 21日

県連事務所：午後7時～ 8時40分

出席者：あつた（森田）、■犬山（井川）、春日井（弘中）、かわせみ（神谷）、じねんじょ（森）、■ありんこ（榊原）、同志会（吉田・吉川）、みどり（杉浦）、6山岳会、7名出席

■：欠席連絡あり

- 1) 代表者会議の報告について、――各担当者感想等、組織問題を中心に意見交換しました。
 - * 県連として今年の行事を活発にやって欲しい、と言った。
 - * 会員拡大、人員の確保が必要である。950名を割ると赤字になるのではないか。
 - * 財政問題で時間を取られた。会員拡大等の肝心の議論が出来なかった。各会が会員拡大や活動等をどのようにやっているか聞きたかった。
 - * 総会での方針部分が項目だけで説明がない。質問すると“担当者会議で決めます”では可笑的。説明を付けるべきだ。
 - * 一般登山講座の実技山行を、受講生とつながりを持てるように秋にも行ったらどうか。
- 2) 一般登山講座、次年度の準備
 - * 次年度は実行委員会形式として、担当者会議と日程を別建てとする。
 - * 実技山行に一般会員の参加はスタッフとして参加することとする、前年度の受講者が参加希

望の場合は各会の山行への参加として参加。

*組織担当者の交流・下見山行——11月9日(土)。坂祝～明王山～坂祝ルート。日程を延期再設定。明王山、国見岳の下見山行——日程を調整する。

*案内チラシの配布・設置状況——各会の訪問者・見学者への配布をしてください。

藤内小屋に貼りだし、設置してありますので、通った人は汚損状況など確認して下さい。

藤原岳大貝戸休憩舎は藤原市に確認、近日中に設置予定。

猿投山雲興寺登山口休憩舎は瀬戸市問合せで不可でした。

*三重山好会等からの応募状況。——2名、その他1名、計3名。

3) 会員拡大の取組み・対策

*現在の登山界、登山者の状況に見合った組織拡大と登山講座のあり方について検討が必要。

*県連連盟員の組織状況は、別紙。

*労山愛知の編集方針——各会の周年行事、各会への訪問の中で良い事例などを他の会にも普及できるような記事を掲載します。

*各会への訪問を始めています。——くらら11月14日訪問。別項参照。

4) 労山運動の理念に関しての学習——感想・討議を中心に次の資料を使って学習を進めます。

資料集——2018年「労山運動の理念と発展」資料一覧の〔資料〕

登山学校テキスト2013年版

同上、第50期第1回講座「労山運動の理念」講義(記録)

登山時報草創期を語る①伊藤正俊

登山運動30年のあゆみ——愛知県連草創期を作ってきた方々の文章

5) 登山時報の普及について——労山愛知紙上に登山時報の記事紹介を掲載し、拡大につなげる。

現在、各理事が分担・交替で記事を掲載しています。

くらら山の会訪問報告

組織部では各会の集会等に訪問・見学に訪れ、集会の状況やその中で学ぶべき点などを労山愛知で紹介していきます。第二回の訪問は11月14日(木)、くらら山の会でPM7時～。会場は中区のナディアパーク。会員数在籍70名の内集会参加者は31名。2020年に創立25周年を迎える比較的新しい会です。創立当初は職場での会員拡大が主でしたが、現在は名古屋市東部の会員を中心に活動し、中区で集会、名東区で運営委員会を開催しています。訪問者は吉川。

集会は会の中で参加者募集中の山行紹介、直近の山行報告、ヒヤリハットの報告はなく、県連盟他の会の事故報告2件、県連盟の活動報告は女性部の山筋ゴーゴー体操と料理教室、山行企画部の報告、各専門部報告と教育部講座「細引きの使い方」等でした。

山行の紹介、山行報告は会報に沿っての説明で、山行26件中12件に30分ほどかけて報告されるなど、ゆったりとした雰囲気での集会でした。それ以外の各報告も会の現状の良く判る内容でありました。

同日に教育講座が開かれ、「細引きの使い方」ではザイルの結び方と、簡易ハーネス装着でフィックスザイルを通過する練習がなごやかに行われていました。

年明け1月26日に総会が予定され、その準備として会員から“会の自慢できる点”“改善する点”のアンケートを集めて、総会の準備をしています。

会員の年齢構成が集計されていて、30代4%、40代11%、50代14%、60代28%、70代以上27%と高齢者が多いことも特徴です。最高齢は81歳になり、高齢者が無理なく長く登山を続けられる雰囲気や山行活動が作られていると言えます。10月の全国女性交流集会でも筋力トレーニング週三回以上、山行週一回以上で加齢による筋力の衰えを防止でき、80歳くらいまでは年齢に応じた山登りができる、と強調されていました。山筋ゴーゴー体操の普及などで、長く山行を続けられる会の活動を継続していただきたい、と感じました。

教育部 11/14(木) 第8回教育担当者会議を開きました

日時：11月14日（木）19時30分～

参加者：半田F（新海）、ありんこ（榊原） 計 2山岳会 2名

「3人寄れば文殊の知恵」で、特に頭が良くなくても3人集まって相談すれば何か良い知恵が浮かぶだろうと、いままで小人数でも頑張ってきた会議でしたが、今回、その3人より少ない参加で流会も考えました。でも、せつかく時間（とお金）をかけて県連事務所まできたのだから、2人でも今の情報共有と今後の意見交換は大切だと気を取り直し実施しました。

(1) 氷雪技術講習会について

① 氷雪技術講習会の一般の方への受講について

教育担当者会議としては、連盟員の教育を進める中で、一般の方にも参加していただき、「山岳団体として一般の登山者の方々の安全登山の一助となることと、雪山へ行こうと意欲のある人に山岳会というところがどういうところか（本当に安全に登るにはどこかの山岳会に所属すること）等を肌で感じてもらう機会とすること」とし、提案しました。

結果、各会代表者会議・理事会で、賛成・反対の意見が出され、今期は取り組まないこととし、来期以降にむけては、雪山版の一般登山講座をどのように取り組むか、理事会で検討していくことになりました。

② 氷雪技術講習会の途中報告（最新情報の追加あり）

10山岳会から講座1～4で毎回20名を超える受講者があり、延べ97名（平均24.3名）でした。また、そのうち、テント泊の実技講習に4名、日帰りの実技講習に12名の申込みがありました。

実技講習は講師2名で実施しますが、日帰り講習については、受講生が12名と多く講習場所（伊吹山6合目）までの山行をサポートしていただくスタッフを募集しますので、雪山の経験のある方は、ぜひ、スタッフ参加をお願いします。

(2) 教育活動（交流を含む）について

教育面での会と県連との関わり方や県連全体の教育体系について、どうしていくことがよいか、講習会等を体系づけ、それを支える教育活動（方法、体制等）を考えていくこととしました。参考に他府県連（大阪、神奈川）に問い合わせをしました。

- ・大阪府連は、具体的にどのように運営されているかまでは把握できませんでした。
- ・神奈川県連は、来期にむけて登山学校等の体系の見直し中とのことでした。

それを支える教育活動（方法、体制等）についても、見直し中でハイキング委員会、教育部とそれぞれ講師がいたが、統合して「教育委員会」を新設し、高齢化講師の引退・若手講師の獲得に対応していくとのことでした。

昨年アンケートを取り、氷雪技術講習会の見直しに取り組んだ結果、日帰りの実技講習の希望が掘り起こされ、日帰りの実技講習12名の申込みにつながったと考えます。

今後も、県連教育活動について、オープンに議論してよりよい体系にしていきますので、各会からの参加をよろしくをお願いします。

次回、第9回教育担当者会議を2019年12月19日（木）に19時30分より開きますので、各山岳会・コーチ会議がら奮って参加をお願いします。

自然保護部 第7回自然保護部会開催

日時 2019年11月21日 19時30分～ 県連事務所

参加者 太田（春日井）、副田（スルジェ）、山腰（若駒）、鋤柄（ふわく）、

塚原（かわせみ）、吉田（くらら）、山本（みどり）、渡辺（同志会）、
番（ASC）、田中（あつた） 10山岳会10名

1) 秋の合同清掃ハイク

各山岳会より報告を受ける。

2) 来期の主要行事、日程を決める

・鈴鹿山系清掃登山

2020年6月7日（日） 御在所岳・藤原岳・プラスα（未定）で実施を決める。

・秋の合同清掃ハイク

例年通りでの実施をする。全山岳会が出来るように呼びかけをする。

・藤原岳ハルザキヤマガラシ駆除作業

実施日程を決める。4月19日、5月17日、6月21日の3回とする。

なお、6月7日の清掃登山の時にも希望山岳会があれば実施する。

3) 来期の部会、清掃登山実行委員会の日程を決める。

自然保護部 2020年3月19 or 26日、7月9日、8月6日9月9日、10月8日、
11月5日、12月9日、2021年1月14日

清掃登山実行委員会 2020年4月2, 8, 23日、5月1, 13, 27日、6月4,
11日

4) その他

・2020年3月に藤原岳自然観察会に参加をする。

・清掃登山以外の自然保護活動に来期は参加できるようにしたい。

e x p 藤前干潟の清掃活動・・・

・全国自然保護担当者会議に参加したことを報告する。

リニア工事にとまなう南アルプスの自然破壊の問題、巨大ソーラーパネル建設による山林破壊、清掃登山のあり方、トイレの問題点など。

2019年 秋の合同清掃ハイク

| 山岳会 | 日時 | 山域 | 参加人数 | | | ゴミ (Kg) | | |
|----------|--------|----------|------|----|----|---------|------|------|
| | | | 会員 | 一般 | 合計 | 可燃 | 不燃 | 合計 |
| ふわく山の会 | 10月6日 | 愛知県下7コース | 61 | | 61 | | | 3 |
| 半田FM山の会 | 10月20日 | くらがり溪谷～ | 19 | | 19 | 1 | 2.5 | 3.5 |
| 東三河山ぼ会 | 10月20日 | 湖西連峰 | 16 | | 16 | 25.5 | 22.5 | 48 |
| アリス山の会 | 10月20日 | 弥勒山他 | 5 | | 5 | 0.25 | 0.8 | 0.35 |
| スルジェ山の会 | | | 18 | 9 | 27 | 1.8 | 0.7 | 2.5 |
| 春日井峠の会 | | | 20 | 7 | 27 | 1.7 | 2.5 | 4.4 |
| 名古屋山岳同志会 | 10月27日 | | 13 | | 13 | | | 10 |
| かわせみ山楽会 | 10月27日 | 八曾山 | 6 | | 6 | 0.5 | | 0.5 |

| | | | | | | | | |
|----------|--------|--------|----|----|----|------|------|------|
| みどり山の会 | 11月7日 | 猿投山 | 18 | 65 | 83 | 1.2 | 0.15 | 1.35 |
| 犬山マップ | 11月10日 | 入鹿池周回 | 24 | 1 | 25 | 22.6 | 40.4 | 63 |
| じねんじょ山岳会 | 11月12日 | 八曾山 | | | | 0.3 | | 0.3 |
| 名古屋ASC | 11月17日 | 寧比曾岳 | 12 | 1 | 13 | | | |
| 山の会くらら | 11月20日 | 瀬戸海上の森 | 46 | 36 | 82 | 13.8 | 27.4 | 41.2 |
| 若駒山岳会 | | | 8 | 2 | 10 | | | |
| あつた労山 | | | 26 | 2 | 28 | | | |

・合同清掃ハイクのスナップから



ゴミがありました！



計量中

女性部 女性部だより

12月5日(木) 県連事務所において女性のつどいを開催しました。二宮(みどり)、木村(あつた)、田中(若駒)、服部(くらら)、稲垣(同志会)、河村(春日井峠)の6山岳会6名で、来年度行う予定のアンケート調査項目についての検討をいたしました。来年度以降の、活動の方向性を決めていく為の資料とするアンケートをおこないたいと考えています。内容等が確定しましたら、皆様にご協力をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

今年も開催します。「山に登る体を作る料理教室」

昨年度に引き続き、くらら山の会で「イケメンクッキング」を開催されている、栄養士でもある服部さんより、スポーツで負けない身体づくりを目指しての料理講習会を開催します。当日の

メニュー等詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

期日 2月20日(木) 18:00~21:00
場所 名古屋市東区生涯学習センター
会費 1,000円
持ち物 エプロン、三角巾(はんかち、バンダナ等)

遭対部 1/20 机上、1/26 実技、積雪期救助訓練に参加しましょう

冬山を安全に仲間と登るために、事前に、しっかり学習・準備しましょう。そのため標題の訓練に参加しましょう。

①机上【とき】2020年1月20日(月)19:30~、【ところ】県連事務所

②実技【とき】2020年1月26日(日) 【ところ】御在所岳

愛知県勤労者山岳連盟第52期登山学校 2020年3月29日から開講

愛知県勤労者山岳連盟第52期登山学校を、下記の2コースで開校します。

マウンテナリング・コースは、山を歩くための生活・行動技術、パーティーとしての基本的な行動や考え方を学び、安全な登山の総合的な力量を身につけます。

クライミング・コースは、登攀具の初歩的な使い方から岩登りの技術、安全についての理解と認識を高めていきます。

登山の基本的な知識・技術を体系的に学び、「連れていってもらおう」登山者ではなく、総合力を身につけた自立した登山者になることをめざします。多くの仲間の受講を呼びかけます。

1 定員 マウンテナリング・コース、クライミング・コース ともに15名

2 応募資格、申し込み方法

資格は特に限定しませんが、学ぶ意欲、体調管理ができること、きちんと歩く力があること。

(実技の前に課題を配布しますので、ロープワークなどは予習のこと)。

労山山岳事故対策基金に10口加入していること。

入校申込書兼推薦書に必要事項を記入し、下記まで申し込んでください。

(必ず所属山岳会の会長が推薦状を記載し、県連へメールで申し込んで下さい)

【申し込み先】 愛知県勤労者山岳連盟 登山学校事務局 aichirousan@gmail.com

3 受講料 各コースとも33,000円(机上講習、実技講習代、テキスト代を含む。実技講習にかかる交通費、装備等は各自別途実費負担) ※クライミング装備をそろえるのにお金がかかります。理論講座を受講してから購入するようにしてください。あわてて買ってしまわないこと。

4 カリキュラム

*基本的に、遅刻、欠席は認めません。

【理論講座（マウンテニアリング、クライミング共通）】

| 開 講 日 | テーマ（ ）内は講師 | 講 習 内 容 |
|---------------------------------|--|---|
| 2020年 3月29日(日) 8:30~16:30 | 労山運動の理念 ①登山の動機と意義②組織論／③遭難事の防止／ ④自然保護 登山の計画～下山まで① 計画書の意味／装備と食糧 （ ） | 開校式を兼ねています。何気なく山に登っている自分をまず見つめてみましょう。登山者として必要な「山に入る姿勢」と「なぜ山に登るか？」を考えます。 また計画書の重要性を通して、自分が所属している山岳会の意味や登山の危険と安全、その防止のための登山の基礎的な知識やルールなど登山の基本について考えます。 |
| 3月30日(月) | 岩登りの基礎Ⅰ （ ） | 岩登りについての考え方、具体的・基本的な知識、用具の解説、ロープワークについて学びます。 |
| 4月 6日(月) | 岩登りの基礎Ⅱ （ ） | 岩の登り方・確保の方法についての注意点など、クライミングにおける技術とルール、その実際を理解します。 |
| 4月13日(月) | 登山の計画～下山まで② 生活・行動技術（ ） | 山での生活の基本、行動上の注意点、歩き方や危険箇所の判断・通過の仕方などについて学習します。 |
| 4月20日(月) | パーティー論・リーダー論 （ ） | パーティーが安全に登り、確実に下山できるようにリーダーやメンバーが果たすべき役割と責任は？ |
| 5月11日(月) | 地図の読み方・使い方 （ ） | 地図の実践的な使い方、読み方を学ぶとともに、計画書作成に不可欠な概念図の書き方について学習します。 |
| 5月18日(月) | 気象Ⅰ （ ） | 天気図と山の天気の基本を学びます。天気予報だけではわからない、気象のあれこれが見えてきます。 |
| 5月25日(月) | 気象Ⅱ （ ） | 天気図が書けるだけでなく読めることが必要です。天候の予測、次の行動の判断ができるようになるかな？ |
| 6月 1日(月) | 体力・トレーニング論 （ ） | 登山に必要な体力づくりを効果的におこなう方法を学びます。日常的に実践できるようになりましょう。 |
| 6月 8日(月) ※予定 | 確保技術（机上） ※県連遭対部行事（ ） | 岩登りや沢登りに不可欠な確保技術。正確な知識と安全な確保とはどのようなものか、を学びます。 |
| 6月15日(月) ※予定 | 無雪期救助訓練（机上） ※県連遭対部行事（ ） | 県連の救助訓練に参加します。山行中に起きた事故を想定した救助の基礎的で実践的な知識と技術を学びます。 |
| 6月20日(土) ※予定 | 救急救命法 ※県連遭対部行事（ ） | ファーストエイド。山行中のアクシデントや疾病に対処できる実践的な知識・技術を学びます。 |
| 6月22日(月) | 沢登りの基礎 （ ） | 岩登り、生活・行動技術など総合的な力を要求される沢登り。その装備や技術について学びます。 |
| 6月29日(月) | 登山の危険と安全対策 （ ） | 山では危険のあることを知り、安全な登山をしていくことは登山者の責任。事故事例を検証し、他に学ぶことで、どうしたら安全な登山ができるかを考えます。 |

【実技】 M：マウンテニアリングコース、 C：クライミングコース、 MC：両コース共通

| 実施日程 | 区分 | 山域（予定） | 備 考 |
|---------------|--------|---------------------------|----------------------------|
| 4月11-12日(土・日) | MC | 南山（豊田）ゲレンデ | テント泊。基本の「き」を学ぶ |
| 4月19日（日） | C M | 南山（豊田）ゲレンデ 鈴鹿・烏帽子岳（予定） | いよいよ、岩場で実践 山歩きのおもしろさを実感 |
| 5月10日(日) | C | 鈴鹿・藤内壁 | 岩登りの基本を反復しながら確認 |
| 5月17日(日) | C | 鈴鹿・藤内壁 | 岩登りの基本を反復しながら確認 |

| | | | |
|---------------|----|------------------------|--------------------|
| 5月23-24日(土・日) | M | 鈴鹿南部(未定) | 幕営・生活技術を習得する |
| 6月14日(日) 予定 | MC | 比良(予定) | 確保技術講習会実技 ※県連遭対部行事 |
| 6月21日(日) 予定 | MC | 鈴鹿・藤内壁周辺 | 救助訓練 ※県連遭対部行事 |
| 6月28日(日) | C | 鈴鹿・藤内壁 | 岩登りの基本に習熟する |
| 7月4-5日(土・日) | MC | 鈴鹿周辺(予定) | 1日目読図、2日目沢登り |
| 8月23日(日) | C | 鈴鹿・藤内壁 | 研修山行を見据えた実技 |
| | M | 中央ア鳥帽子岳 | |
| 8月29-30日(土・日) | M | 八ヶ岳 | 研修山行 ※8月24日(月)打合わせ |
| 9月5-6日(土・日) | C | 八ヶ岳・阿弥陀南稜～小同心・中山尾根(予定) | 研修山行 ※8月24日(月)打合わせ |

登山学校の理論講座は、労山会員なら誰でも受講可能です。(一講座500円)

「学びたい」と思う講座をチョイスして聞くことができます。この機会を有効に使いましょう！有料ですが、なかなか普段、会では学べない内容の講座がラインナップです。講座当日、19時半までに県連事務所へどうぞ！県連登山学校のテキストも、希望者には頒布(1000円)しています。当日の講師の補足資料(受講者に配布)とあわせて利用してください。

登山時報の紹介

この原稿の依頼を受けて、慌てて読み込んだ。普段は、写真を見ながらパラパラと就寝前の枕元で見るくらいである。12月号を読み解くと、やはり登山もグローバル時代か、中国・ヨーロッパ・中近東での登山記、好奇心がなすまま日本人を登山者は、世界を又々駆けている。元気が出ます。

直近の出来事では、10月の台風19号の関東地域の甚大な被害、東京の高尾山の登山道が寸断され壊滅的被害、6つあるハイキングコースで「稲荷山コース」の尾根コースのみ通行ができると記載あり、時の、素早い情報がありました。

今ネットでよく見る「ココヘリ」。労山会員が黒部川の祖母谷温泉を下る途中で道迷い、前日目視の検索で手がかりがなかったが翌日ヒトココの親機を搭載したヘリが離陸してからわずか20分で発見して救済した。現在ココヘリの加入者は、全国1410名

(2019年10月末現在)、やはり必需品道具かな？。その他スマホ講習会等も記載されている。

読めば読むほど知恵が掲載されている「登山時報」皆さまいかがでしょうか！(記：)

【編集後記】今年も残すところわずか。何か3か月分ぐらいしかやることをやっていないうちに、一年が経ってしまったという感じがいたします。来年もよろしく願いいたします。(事務局 井土)

Schedule 2019

| 1月 | | | 2月 | | | 3月 | | |
|----|---|--------------------------------|----|---|--------------|----|---|--------|
| 1 | 水 | 正月 | 1 | 土 | | 1 | 日 | 第52期総会 |
| 2 | 木 | | 2 | 日 | | 2 | 月 | |
| 3 | 金 | | 3 | 月 | | 3 | 火 | |
| 4 | 土 | | 4 | 火 | | 4 | 水 | |
| 5 | 日 | | 5 | 水 | | 5 | 木 | |
| 6 | 月 | | 6 | 木 | 理事会⑳ | 6 | 金 | |
| 7 | 火 | | 7 | 金 | 遭対担当者会議⑤ | 7 | 土 | |
| 8 | 水 | | 8 | 土 | | 8 | 日 | |
| 9 | 木 | 理事会⑱ | 9 | 日 | | 9 | 月 | |
| 10 | 金 | | 10 | 月 | | 10 | 火 | |
| 11 | 土 | | 11 | 火 | | 11 | 水 | |
| 12 | 日 | | 12 | 水 | | 12 | 木 | |
| 13 | 月 | | 13 | 木 | 女性のつどい⑩ | 13 | 金 | |
| 14 | 火 | | 14 | 金 | | 14 | 土 | |
| 15 | 水 | 教育担当者会議⑩ | 15 | 土 | 第34回総会(全国連盟) | 15 | 日 | |
| 16 | 木 | 組織担当者会議⑨ 自然保護部会⑨ 女性のつどい⑩ | 16 | 日 | 第34回総会(全国連盟) | 16 | 月 | |
| 17 | 金 | 冬山合宿遭対報告会議 | 17 | 月 | | 17 | 火 | |
| 18 | 土 | 氷雪技術講習実技② 雪崩講習会実技 | 18 | 火 | | 18 | 水 | |
| 19 | 日 | 雪崩講習会実技 | 19 | 水 | | 19 | 木 | |
| 20 | 月 | 積雪期救助訓練机上 | 20 | 木 | 組織担当者会議⑩ | 20 | 金 | |
| 21 | 火 | | 21 | 金 | | 21 | 土 | |
| 22 | 水 | | 22 | 土 | | 22 | 日 | |
| 23 | 木 | 理事会⑲ | 23 | 日 | | 23 | 月 | |
| 24 | 金 | | 24 | 月 | | 24 | 火 | |
| 25 | 土 | | 25 | 火 | | 25 | 水 | |
| 26 | 日 | 積雪期救助訓練実技 | 26 | 水 | | 26 | 木 | |
| 27 | 月 | | 27 | 木 | 理事会(21) | 27 | 金 | |
| 28 | 火 | | 28 | 金 | | 28 | 土 | |
| 29 | 水 | | 29 | 土 | | 29 | 日 | |
| 30 | 木 | | | | | 1 | 月 | |
| 31 | 金 | | | | | 2 | 月 | |

ご意見、ご要望・投稿・写真などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com